

# 台灣における八田與一

監修 慈泉 武



白山共生大学院出版局

# 台湾における八田與市

慈泉 武 監修

白山共生大学院出版局

はじめに

随時ずいじの淮水かんすいは滾々こんこん還流してつきざる限り、諸子しよしの名もまた不朽なるべし

1930（昭和五）年、烏山頭うざんとうダムが完成した際、このダムのほとりに「殉工碑じゅんこうひ」が建てられた。この碑には、工事中に亡くなられた百三十人以上を慰霊するために日本人、台湾人、地位などの差別はなく、亡くなった時期の順に姓名が刻まれている。冒頭に掲げた文はこの碑に刻まれている與市自らしたためた一部である。

この碑を建立後、與市はフィリピンへ赴任するために乗船した船、大洋丸で航行中をアメリカ潜水艦による魚雷攻撃により殉死し、妻、外代樹は與市の死後三年時に烏山頭・放水口下流に投身自殺して果てた。嘉南平野かなんを水で潤すために捧げられた八田夫妻の敬虔な生涯は烏山頭ダムとその灌漑水路網と共に台湾民衆の心中に深く刻み込まれている。

本書は、わが国が生んだ誠実で真摯に己の天命を異国、台湾において全うした一人の偉人の生涯を日本のみならず世界中に紹介する最初の英語で書かれる国際版となる予定である。これは、その日本語原著である。

慈泉 武

令和三年四月四日 白山寓居にて

台湾における八田與一関係位置図  
許(2011) 参照



プロローグ

朱水益 おい、河龍よ、こんなところが、なぜ面白いんだ！

孫河龍 なぜって。廃墟にはお宝は付き物だぜ！

林美泉 お宝より、お化けでも出そうよ！

孫 こんなところになにかあるよ。

朱 これ、お宝？

孫 そいつは、むかし博物館で見たことのある、大昔のラジオだ。

林 いったい、ここにだれが住んでいたの？

孫 それが謎なんだよ。

林 この山の上に、いくつもの島を浮かべている美しい湖があるようね。こんな暗いところではなく、そっちへ行こうよ。

孫 それらの島にはお宝はあるのか？

孫 こんなことなら、ゴムボートを持ってくればよかった。

朱 この坂道を登るのは大変ね。

孫 あれ！ あんなどころに変わった銅像があるぞ。どこかで見たような気がするが。

朱 これは、いったいだれの銅像かな？

孫 これらの島のどこかに、きつとお宝があるぞ。

朱 どうしても思い出せないなあ！

林 すてきな湖ね！

朱 雲行きが変わってきたから、先を急ごうぜ！

孫 出発前にもうスクールが来たぞ。

朱 こんなことなら、塾でテストでも受けていた方がましだったかも！

林 船を漕ぐオールを忘れてきた。

続きは  
完成版で  
お楽しみ下さい。